

科 目 名	基礎理学療法実習【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	満 丸 望						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	基礎理学療法実習では理学療法評価、治療手段である運動療法を実施する際に必要な骨・筋の触診を行う。この授業では、学生同士での触診実習を中心として行う。触診を正確に行うためには、1年次前期に学習した解剖学の知識が必要不可欠である。授業を受ける準備として、解剖学の講義内容を復習しておくことが望ましい。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 解剖学の知識（骨、筋）を人体でイメージできる。 2) 触診を行う際のオリエンテーションを行う事ができる。 3) 正確に骨のランドマークの触診ができる。 4) 筋の起始・停止をイメージし正確かつ安全に筋の触診ができる。 5) 骨、筋に関する国家試験問題を解くことができる。 6) 医療人としての心構えを身につける。						
学 習 方 法	実技中心で行う。骨格モデルを使用し、学習を進める。実技試験を実施する。						
テキスト及 び参考書等	骨格筋の形と触察法（大峰閣）、運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学（医学書院）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○		◎	60		
小テスト等	○	○			10		
宿題・授業外レポート							
授業態度			◎	○	10		
受講者の発表		○	◎		10		
授業への参加度			◎	◎	10		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	解剖学の知識の確認（小テスト実施）、授業のオリエンテーション、触診の基本						
第 2 週	骨の触診①（脊柱、肩甲帯）						
第 3 週	骨の触診②（上腕骨、前腕の骨）						
第 4 週	骨の触診③（手部の骨、骨盤）						
第 5 週	骨の触診④（骨盤、大腿骨）						
第 6 週	骨の触診⑤（下腿骨、足部の骨）						
第 7 週	骨の触診まとめ						
第 8 週	筋の触診①（肩関節周囲の筋）						
第 9 週	筋の触診②（上腕部、前腕部の筋）						
第 10 週	筋の触診③（腹部の筋）						
第 11 週	筋の触診④（背部の筋）						
第 12 週	筋の触診⑤（股関節周囲の筋）						
第 13 週	筋の触診⑥（膝関節周囲の筋）						
第 14 週	筋の触診⑦（足関節周囲の筋）						
第 15 週	筋の触診まとめ						
第 16 週	定期試験（ペーパー試験、実技試験）						
備 考	触診を行うため、毎時間Tシャツ、短パン、バスタオル、油性マジックを準備して触診部を露出できるようにしておくこと。また、爪は必ず短くしておくこと。 授業外学習（事前学習・事後学習）の指示：解剖学の復習をしておくこと						